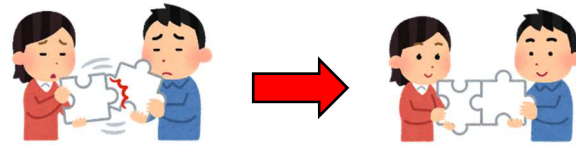


# 生徒・保護者向け資料

困り感や不安がある生徒が、特別な教育課程を個別に編成して受けられる授業

## 「通級による指導」



山梨県立ひばりが丘高等学校

### 【目的】

- ・ 集団生活や対人関係に困難さを感じている生徒が、自分の特性等を正しく理解する。
- ・ 心理的な安定や人間関係の形成、コミュニケーションにおける課題に向き合う。
- ・ 校内の生活への適応にとどまらず、卒業後の適切な就労や進学も視野に入れ、外部機関と連携しながら生涯にわたって活かせる力の獲得を目指す。

【対象者】 本人並びに保護者の受講希望があることが前提。①または②に該当し、③で認められた生徒。

- おもに
- ① 集団行動や対人関係に困り感や不安がある生徒
  - ② 比較的軽度な発達障害を有する生徒
  - ③ 校内委員会で通級指導の認定を受けた本校生徒
- ※ 認定を受けるにあたって、聞き取りを行う。

### 【科目名と履修年次】

- ・ ライフスキルⅠ (LSⅠ)：2年次以降対象
- ・ ライフスキルⅡ (LSⅡ)：LSⅠ修得者を対象に実施。

### 【実施時間と単位】

年間2単位。

日課表の例) 履修が決定した場合、曜日は次年度始めに通知する。

	時間	月	火	水	木	金
昼間部	1	10:10~10:55				
	2	11:00~11:45				
	3	12:45~13:30	昼間部 授業			
	4	13:35~14:20	昼間部 授業			
特別	5	14:40~15:25				通級 ライフスキル
	6	15:30~16:15				通級 ライフスキル
夜間部	7	16:45~17:30				
	8	18:00~18:45				
	9	18:50~19:35	夜間部 授業			
	10	19:40~20:25	夜間部 授業			

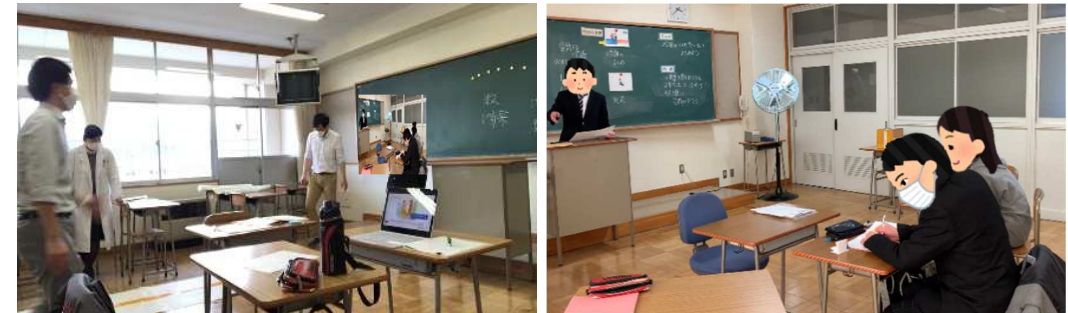
1~4校時(7~10校時)に  
授業を“加える形”の履修

### 【指導内容】

- ・ 特別支援学校学習指導要領に基づいた自立活動の指導を行う。
- ・ ソーシャルスキルトレーニングや作業活動などを中心とした、個別のコミュニケーション指導。
- ・ 指導書や教材を用意してもらう必要はない。
- ・ 担当教員が生徒の実態を見て、個別の教育支援計画(※裏面参照)を作成し、目標を設定する。
- ・ 個々の課題を設定し、活動する。具体的内容例は以下の通り。

	【LSⅠ】 ソーシャルスキルトレーニングを主とした コミュニケーション指導	【LSⅡ】 作業学習を通して行う コミュニケーション指導
題材	あいさつ・自己紹介の型	なんで働くのか?
	聴くスキル 話すスキル	履歴書やゲームを用いた自己理解
	パーソナルスペース	長所と短所を掘り下げる
	ゲームを通して、相手の気持ちを考える	自分の行動を客観視、分析する
	気持ちの切り替え方	相談する練習
	ストレスマネジメント	トラブル対策
	ルールとマナー	どういう行動がより良いのか
	自分にかかるお金	作業学習(事務作業・サービス業)
	スマホ・SNSを用いた友人との付き合い方	インターンシップ事前・事後学習
	課題対応学習	インターンシップ

- ・ 年度始めの目標を達成できたかどうかを年度末に審議し、単位修得を判断する。



### 【履修者の卒業までの流れ】

